

第11回「演習課題への挑戦(4)」

これまでのゼミの資料は、次のサイトに公開されています。印刷した資料が必要な場合は、サイトからプリントアウトしてください。

- <http://arena.hyogo-dai.ac.jp/~kawano/kisozemi/>
- ゼミに関する書籍などの情報もあります。

今後のスケジュール

- 第11回 (2010-06-30) 「演習課題への挑戦(4)」 <-----今ココ
 - レポートのタイトルを決定し、レポートの方針を決める。
 - 必要な資料を収集し、レポートを作成する。
- 第12回 (2010-07-07) 「学習成果の表現方法について」
 - 自分のレポートを作成し、添削を受ける。
 - 自分のレポートについて、プレゼンテーションをレジュメ(下書き)を作成する。
- 第13回 (2010-07-14) 「成果の発表(1) 文書や口頭」
 - 自分のレポートを完成する。
 - 自分のレポートについて、プレゼンテーションの練習をする。
- 第14回 (2010-07-21) 「成果の発表(2) 文書や口頭」
 - プレゼンテーションを相互評価する。
 - プレゼンテーションの内容を見直す。
- 第15回 (2010-07-28) 「成果の発表(3) 文書や口頭」
 - 自分のレポートについて、最終のプレゼンテーションをする。

レポートのタイトル

自分のレポートのタイトル

後日変更してもかまわないが、事前に相談すること！

大まかなテーマ	「子どもと携帯電話（ケータイ）」または「学校と携帯電話（ケータイ）」
具体的なタイトル (疑問文で)	
問題提起	
自分の主張（結論）	
主張の理由 (資料などにもとづく根拠)	

各自のタイトル

後日変更してもかまわないが、事前に相談すること！

学籍番号	レポートのタイトル
H2101014	
H2101019	
H2101027	
H2101028	
H2101032	
H2101034	
H2101035	
H2101036	

タイトルの決定からレポートの提出までのながれ

たとえば、2週間程度で書く場合は、次のようなスケジュールになる

1. 大まかなスケジュールを立てる (1日程度)
2. 主題 (タイトル) の決定 (5～6日程度)
 - 資料を集めて整理する (3～4日程度)
 - 問題提起とそれに対する自分の主張 (仮説) の決定 (1～2日程度)
 - (必要であれば) タイトルの再検討
 - 全体の構成やアウトライン (骨組) を決める (1日程度)
3. レポートを執筆する (1週間程度)
4. レポートを推敲する (1日程度)
5. レポートを提出する

レポートの構成の例

- 1. 序論 (はじめに、など)
 - 背景の説明、問題提起、自分の主張の提示
- 2. 本論
 - 提起した問題の現状などを説明
 - 専門用語を解説 (必要に応じて)
 - 自分の主張にあった事実・出来事・対策などを説明 (必要であれば引用も)
 - 反対意見を想定してみても、それに対する解決策を説明
 - 自分なりの意見を、論理的に説明
- 3. 結論 (まとめ、おわりに、考察、など)
 - 全体を通して、自分のをまとめる
 - 具体的な提言や、今後の課題などがあれば述べる
- 参考文献
 - 引用した資料や参考にした資料を提示

[再掲] インターネットを利用して関連資料を探す

資料探しへの取り組み方

1. テーマに関する全体的な知識や動向を調べる
2. テーマに関する基礎的な知識や専門用語などを調べる
3. テーマに関する最新の知識や動向を調べる
4. テーマに関連する他の分野の知識や情報を調べる

探した情報は、どこにある情報かを記録して、コピーまたは印刷して保存しておきましょう。

- ネット上の情報は「お気に入り」に追加しておき、印刷もする
- 図書・文献は、コピーをしたり「文献メモ」を作成しておく

ネットを使って探す（公的情報源、白書、統計資料など）

- 情報通信白書（総務省：<http://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/>）
- 統計調査結果（e-Gov 電子政府の総合窓口：<http://www.e-gov.go.jp/link/statistics.html>）
- サイバー犯罪対策（警察庁：<http://www.npa.go.jp/cyber/>）
- ハイテク対策（警視庁：<http://www.keishicho.metro.tokyo.jp/haiteku/>）
- 情報セキュリティ（情報処理推進機構：<http://www.ipa.go.jp/security/>）
- インターネットホットライン連絡協議会（<http://www.iajapan.org/hotline/>）

ネットを使って探す（専門に関する情報）

- INETERNET Watch（インプレス：<http://internet.watch.impress.co.jp/>）
- ネット・ウィルス情報（asahi.com：<http://www.asahi.com/digital/internet/>）
- ネット&デジタル（YOMIURI ONLINE：<http://www.yomiuri.co.jp/net/security/>）
- デジタル（日経トレンドネット：<http://trendy.nikkeibp.co.jp/digital/>）

ネットを使って探す（文献情報など）

- 文献の題目・著者・本文などで検索
 - CiNii 論文情報ナビゲータ（国立情報学研究所：<http://ci.nii.ac.jp/ja>）
 - Google Scholar（Google：<http://scholar.google.co.jp/>）
- OPAC（蔵書カタログ）の検索
 - 大学のOPAC（兵庫大学：<http://arena.hyogo-dai.ac.jp/lib/>）
 - Webcat plus（国立情報学研究所：<http://webcatplus.nii.ac.jp/>）
 - NDL-OPAC（国立国会図書館：<http://opac.ndl.go.jp/>）
- 電子ジャーナル
 - J-STAGE（科学技術振興機構：<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>）
 - ScienceDirect（エルゼビア：<http://www.sciencedirect.com/>）

参考文献

- 学習技術研究会編著「知へのステップ 改訂版」，くろしお出版（2006.10）
- 専修大学出版企画委員会編「知のツールボックス」，専修大学出版局（2006.04）.
- 佐藤望編著，湯川武，横山千晶，近藤明彦「アカデミック・スキルズ」，慶応義塾大学出版会（2006.10）.
- 小笠原喜博「大学生のためのレポート・論文術」（講談社現代新書 1603），講談社（2002.04）.
- 河野哲也「レポート・論文の書き方入門 第3版」，慶応義塾大学出版会（2002.12）.